**アンケート・ピックアップ**

**10月13日　株式会社creative box 代表取締役社長　CEO　大野　謙介　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

GIFはすごく自分の身近なところまで浸透しています。そのようなたくさんの人に受け入れられ、使われるコンテンツを供給することは、とても難しいと思います。でも、やりたいこと、楽しいことをやることで、こういうことにつながるんだということがわかりました。自分が将来、死ぬときにどうなっていたいかを考えて、逆算して今の自分がやるべきことを知ることは大学生のうちにやっておかなければならないことだと思います。時間があるうちに、やりたいことに気づいて行動してみたいです。やりたいことを事業化するときにはやはり顧客のニーズで考えることが大切だと知りました。これからの自分の生き方にかかわる話をたくさん聞けて良かったです。行動に移していきます。（経営・経営１年）

Twitterで授業のリアクションを映す講義は去年あったと聞いていたが、本当に存在するとは思わなかった。「リスクを負え」とかよく言われている中で「リスクを負いたくても負えない」というリアリティを見せてもらえて、今までは成功者の意見ばかり聞いていたのですごくためになった。（経営学部・会計-情報１年）

“まずは０を１にする”という言葉が印象に残りました。ずっと、やりたいことをする上で一番のハードルはお金だと思ってましたが、自分の心なんだなと改めて思いました。私は将来、自分で作ったりデザインしたりした雑貨を販売したいと思っています。いきなりそれはできなくても、例えばネットオークションで自分が良いと思うものを売り、それがどれほどの人に受け入れられるのかなど、見てみたいなと思いました。資金はなくても自分のできることを少しでも始めていかなければいけないなと思いました。自分で作ったものや好きなものを集めたお店を経営し、多くの人に来てもらい、笑顔になってもらう、自分の目標の100を目指して0から進んでいきたいなと思いました。また、お話の中であった、“自分の人生なのだから自分の好きにしていい”という言葉も心に残りました。自分の夢を貫き通すのはつらいことかもしれないけど、自分の人生なのだということを覚えておきた。（経営・会計情報・一年）

　自分自身の幼少の成功体験などが自分の今目指すことややりたいことにつながっているという考え方は自分の中に無く、驚いたと同時に印象に残りました。起業を目指すといっても具体的な計画やコストが学べ、また起業する自分側からのことを主に考えていて、顧客が求める本音などはしっかりと考えられてなかったことに気づき、実際に起業する時に考えなければならないことに気づかされたと思います。起業するという目標は忘れずに様々な事に挑戦し経験を積んでいきたいです。（経営・会計情報・一年）

　とても分かりやすく魅力的な話でした。いつも何かをなしたいとは思いながらも結局は考えるばかりで何も実行に移せてない中で、本当に実行に移すのは100人に1人と聞いて、心が楽になるとともに100人に1人のその１人になってやろうと思いました。他にも実用的なことを多々教えていただいたけど、まずは始めることをしないと活きてこないと思うので興味があることにどんどん食いついていきたいと思います。（経済・国際経済一年）

大学時代に好きなことやバカなことをやっていて、それが事業にもつながっているというお話を聞き、無駄なことはないので、自分も色々なことをやってみようと思いました。自分も、今、ユーザーにアンケートを取る方法、資金調達の方法について考えているのでとても参考になりました。一方で、他人や一般的な価値観にとらわれず、自分のやりたいことをするのは不安だとも感じました。（経済　経済システム1年）

サービスを作るためには、プランを文章化する。顧客のインサイトを知ることがサービスが確実なものになるには重要。新しいことをやろうとしたときに必要なことはお金でも機会でもなく自分の心。とにかく行動を起こせるかどうかが重要。大学の間に１つでもプロトタイプを作れたら、自分にとっていい経験になる。（経営学部・経営１年）

今日は歳の近い先輩が講演してくださったので、すぐに今の学校生活に生かせそうなことがたくさんあって、興味の持てるお話がたくさんあったので楽しかったです。私はやりたいことはもう決まっているつもりでしたが、大野さんの過去や未来について考え直すことでやりたいことを探す方法は自分について考え直すすごくいいきっかけで魅力的だと感じました。他には大学生活のうちにやりたいことをとりあえずやってみること、また最小価値でサービスを作ることは本当にためになりました。プランの文章化からユーザーの分析の仕方、アンケートのとり方までいろいろ勉強になったし、具体的な話を聞くことで、今思い描いていることが実際にできるかもしれない、と思うことができました。（経営・経営１年）

大野謙介はとりあえずやりたいことをすぐに行動に移していて、とてもあこがれました。しかし、やりたいことばかりして、社会のニーズに合っているのかと少し疑問に思いました。クリエイターは、基本、商品の原価はゼロなので、リスクが低めであるために、やりたいことを実現しやすいのかなと思いました。コスト1万円で客のインサイトを聞くことができるなんて知りませんでした。それによって、さらにリスクが下がる。すばらしい方法だと思いました。そもそもリスクを負いたくても負えないという現実にいることが私にとって、衝撃的でした。（理工・建築都市環境系・1年）

今回の講義では資金の調達の仕方を学ぶことができたのが、一番よかったです。ベンチャーキャピタルを獲得するには何が必要なのかということを知ることができたし、その必要な「事業計画書」と「資本政策資料」の中身も細かく書かれていてとてもためになりました。また、企業の際には、どれほど多くの人の手助けが必要なのだかと知ることができたので良かったです。また、今回の講義の中で印象に残った言葉は、“リスクを負いたくても負えない”ということです。実際には、銀行にお金を借りたくてもそうそう借りられず、資金集めは相当大変なのだと思いました。　（経営・経営・1年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

リスクのお話を聞いて、リスクを負う怖さに自分は怖気づいているのだと思いました。しかし同時に、学生の伸びしろ、失敗してもまだ失うものが少ない時期だと思います。大野さんの考え方はどこか学生のような、周りに縛られていないものだと思いました。子供は知識や法というものを知らず、なんでも疑問に思い「こうしたらいいじゃん」といえることが多いと思います。今はこれからの自分の人生で一番そのような発想ができるときではないかと思ったので、もっと思ったことを形にしてみたいと思いました。（経営・経営1年）

　まずはじめにインターンを考えてみたい。私は理系なのであまりインターンのことを考えていなかったが、大野さんの分野ならできるのではないかと思えた。また、新しいことを予算と期間を決めてやってみたいと思った。学生のうちに会社を建てる、あるいは計画を立ててみるのもいいかもしれないと思った。（理工学部・機械工学科・２年）

　出来る理由を研磨し、洗練して実現するという考え方に感銘を受けました。秋学期は一般教養科目を多く履修することができたので、自分の学びたいこと、やりたいことに必要なことを授業で学び将来の可能性を広げたいと思います。（経営・経営システム１年）

　大学時代の大野さんがやった“世界せーふく”の掲示板が、とても心に残っています。“たのしいこと”をするという大野さんの信念に感動しました。自分のやりたいこと、面白いなと思ったことを体現する力を持ちたいです。まずは、“自分がやりたいことを見つけるワークシート”をやります。（経営学部・経営学科・１年）

15秒の高速をポイントとして取り上げて、現社会に合うテーマを作り上げたということを受けて、私も「今の社会」に求められているものを十分に吟味し、なおかつ「今後の社会」に適応できるモノを考えていく必要性があると感じた。(経営学部　経営学科　1年)

**授業スタッフの感想１**

とにかく自分が好きなことをするべき、という大野さんの考え方に学生が共感している印象を受けました。何かを始めるとついついそのタスクばかりに追われてしまいがちですが、その都度“自分は何が好きで何をしたいのか”ということを確認していこうと思いました。